

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公表特許公報(A)

(11) 特許出願公表番号

特表2007-520828

(P2007-520828A)

(43) 公表日 平成19年7月26日(2007.7.26)

(51) Int.Cl.

G06Q 50/00 (2006.01)

F I

G06F 17/60 146C

テーマコード (参考)

審査請求 未請求 予備審査請求 未請求 (全 14 頁)

|               |                              |          |  |
|---------------|------------------------------|----------|--|
| (21) 出願番号     | 特願2006-552226 (P2006-552226) | (71) 出願人 | 506263756<br>カンター インデックス エルエルシー<br>アメリカ合衆国 ニューヨーク州 100<br>22 ニューヨーク イースト・57ス・<br>ストリート 135 |
| (86) (22) 出願日 | 平成17年2月3日(2005.2.3)          | (74) 代理人 | 100070150<br>弁理士 伊東 忠彦   |
| (85) 翻訳文提出日   | 平成18年9月29日(2006.9.29)        | (74) 代理人 | 100091214<br>弁理士 大貫 進介   |
| (86) 国際出願番号   | PCT/US2005/003315            | (74) 代理人 | 100107766<br>弁理士 伊東 忠重   |
| (87) 国際公開番号   | W02005/074623                | (72) 発明者 | ミラー, ケネス, エル<br>アメリカ合衆国 アイオワ州 50021<br>アンケニー サウスウェスト・カントリ<br>ー・クラブ・レーン 110                 |
| (87) 国際公開日    | 平成17年8月18日(2005.8.18)        |          | 最終頁に続く   |
| (31) 優先権主張番号  | 10/771, 221                  |          |  |
| (32) 優先日      | 平成16年2月3日(2004.2.3)          |          |  |
| (33) 優先権主張国   | 米国 (US)                      |          |  |

(54) 【発明の名称】 セレクトファイブ競馬の賭けを管理するシステム

## (57) 【要約】

競馬レースの賭けを管理するためのシステムが提供される。本システムは、1以上の賭けを受け付けるためのプロセッサ及びメモリを有する。各賭けは、ある日に競馬場にて開催予定の複数の競馬レースから選ばれる5つの競馬レースの選択と、選ばれた5つの競馬レースのそれぞれの各馬の選択と、賭け金とを有する。本システムは、賭けプールを構成するため各賭け金を集約し、少なくとも部分的に賭けプールに基づき、その日の合計払戻金を決定する。

**【特許請求の範囲】****【請求項 1】**

競馬レースの賭けを管理するシステムであって、

各賭けがある日に競馬場で開催予定の複数の競馬レースから選ばれた 5 つの競馬レースの選択と、前記選択された 5 つの競馬レースのそれぞれの各馬の選択と、賭け金とを有する 1 以上の賭けを格納するよう動作可能なメモリと、

前記メモリに接続され、賭けプールを構成するよう各賭け金を集約し、少なくとも部分的に前記賭けプールに基づき、前記ある日の合計払戻金を決定するよう動作可能なプロセッサと、

から構成されることを特徴とするシステム。

10

**【請求項 2】**

請求項 1 記載のシステムであって、

前記プロセッサはさらに、

前記開催予定の複数の競馬レースのそれぞれの勝ち馬を特定する前記複数の競馬レースの結果を受け付け、

前記結果に基づき、前記 1 以上の賭けの 1 以上の当選を決定する、よう動作可能であることを特徴とするシステム。

**【請求項 3】**

請求項 2 記載のシステムであって、

1 以上の当選を決定するよう動作可能なプロセッサは、前記 1 以上の賭けのそれぞれについて、選ばれた各馬が前記賭けにおいて選ばれた 5 つの競馬レースのそれぞれの勝ち馬に対応するか判断するよう動作可能なプロセッサから構成されることを特徴とするシステム。

20

**【請求項 4】**

請求項 2 記載のシステムであって、

前記プロセッサはさらに、当選数と合計払戻金に基づき、各当選について支払われる金額を決定するよう動作可能であることを特徴とするシステム。

**【請求項 5】**

請求項 4 記載のシステムであって、

前記プロセッサは、さらに各当選の賭け金に基づき、各当選について支払われる金額を決定するよう動作可能であることを特徴とするシステム。

30

**【請求項 6】**

請求項 1 記載のシステムであって、

少なくとも部分的に前記賭けプールに基づき合計払戻金を決定するよう動作可能なプロセッサは、手数料率を前記賭けプールに適用するよう動作可能なプロセッサから構成されることを特徴とするシステム。

**【請求項 7】**

請求項 1 記載のシステムであって、

少なくとも部分的に前記賭けプールに基づき合計払戻金を決定するよう動作可能なプロセッサは、以前のレース日からのキャリーオーバー金を前記賭けプールに加算するよう動作可能なプロセッサから構成されることを特徴とするシステム。

40

**【請求項 8】**

請求項 1 記載のシステムであって、

前記プロセッサはさらに、

前記開催予定の複数の競馬レースのそれぞれの勝ち馬を特定する前記複数の競馬レースの結果を受け付け、

前記 1 以上の賭けのそれぞれについて、選択された各馬が前記賭けにおいて選ばれた 5 つの競馬レースのそれぞれの勝ち馬に対応するか判断することによって、当選があるか判断し、

当選がない場合、以降のレース日の合計払戻にキャリーオーバーするキャリーオーバー

50

金を決定する、  
よう動作可能であることを特徴とするシステム。

【請求項 9】

請求項 1 記載のシステムであって、  
前記プロセッサはさらに、

前記その日の競馬場で開催予定の複数の競馬レースの少なくとも 1 つをキャンセルし、  
前記開催予定の複数の競馬レースの少なくとも 1 つについて勝ち馬を特定する前記複数の競馬レースの結果を受け付け、

前記 1 以上の賭けのそれぞれについて、前記選ばれた各馬の少なくとも 1 つが前記賭けにおいて選ばれた 5 つの競馬レースの少なくとも 1 つの勝ち馬に対応するか判断することによって、1 以上の当選を決定する、  
よう動作可能であることを特徴とするシステム。 10

【発明の詳細な説明】

【発明の詳細な説明】

【0001】

[発明の技術分野]

本発明は、一般に賭けに関し、より詳細には競馬の賭けのためのシステムに関する。

[発明の背景]

競馬の賭けは、世界の多くの部分において大規模かつ成長している産業である。様々なタイプの競馬の賭けが、競馬場において利用可能である。例えば、多くの競馬場は、賭けをする人が競馬場によって選ばれた 2 つの連続するレース（当日の最初の 2 つ又は最後の 2 つなど）の勝者について賭ける 1 以上の「デイリーダブル（Daily Double）」の賭けを提供する。一部の競馬場はまた、賭けをする人が競馬場によって選ばれた連続する 3 つのレースの勝者を選択する「ピックスリー（Pick Three）」、賭けをする人が競馬場によって選ばれた連続する 4 つのレースの勝者を選択する「ピックフォー（Pick Four）」、及び / 又は賭けをする人が競馬場によって選ばれた連続する 6 つのレースの勝者を選択する「ピックシックス（Pick Six）」を提供する。 20

[発明の概要]

一実施例によると、競馬の賭けを管理するシステムが提供される。本システムは、1 以上の賭けを格納するよう動作可能なメモリを有する。各賭けは、ある日に競馬場で開催するよう予定された複数の競馬レースから選択される 5 つの競馬レースの選択、選択された 5 つの競馬レースのそれぞれの各馬の選択、及び賭け金から構成される。本システムはまた、メモリに接続されるプロセッサを有する。当該プロセッサは、賭け金プールを構成するため各賭け金を合算し、少なくとも部分的に賭け金プールに基づき、その日の合計支払金額を決定するよう動作可能である。 30

【0002】

プロセッサはさらに、開催するよう予定された複数の競馬レースの結果を受け付けるよう動作可能であるかもしれない。これらの結果は、開催されるよう予定される複数の競馬レースのそれぞれについて勝ち馬を特定するものであるかもしれない。プロセッサはまた、これらの結果に基づき 1 以上の賭けの 1 以上の当選を決定するよう動作可能であってもよい。1 以上の当選を決定するよう動作可能なプロセッサは、1 以上の賭けのそれぞれについて、選択された各馬が賭けで選ばれた 5 つの競馬レースのそれぞれの勝ち馬に対応しているか判断するよう動作可能であってもよい。プロセッサはまた、当選数、合計支払金額及び各当選の賭け金に基づき、各当選について払い戻す金額を決定するよう動作可能であってもよい。プロセッサはまた、その日に競馬場で開催されることが予定される複数の競馬レースの少なくとも 1 つをキャンセルし、開催されることが予定される複数の競馬レースの少なくとも 1 つについて勝ち馬を特定する、開催されることが予定された複数の競馬レースの結果を受け付けるよう動作可能であってもよい。プロセッサはまた、1 以上の賭けのそれぞれについて、選択された各馬の少なくとも 1 つが、賭けで選択された 5 つの競馬レースの少なくとも 1 つの勝ち馬に対応するか判断することによって、1 以上の当選を 40 50

決定するよう動作可能であってもよい。

【0003】

本発明の様々な実施例は、多数の効果を有するかもしれない。1以上の実施例が、後述される効果の一部又はすべてを有するか、又はそれらの何れも有しないかもしれないということに留意すべきである。

【0004】

本発明の1つの効果は、賭けをする人にある日に競馬場で開催されることが予定されるレースから5つのレースを選択し、そのような各レースについて賭けをする機会が与えられ、そのようなすべての賭けが当該賭けの当選者への分配金のプールに投入されるというものである。従って、賭けをする人は、自らが勝者を正確に選ぶ可能性が最も高いと感じる1日のうちの5つのレースを選択することが可能である。さらに、賭けをする人が当日の速い時点に選択した5つのレースの1つをミスした場合、賭けをする人は、まだ開催されていない5つのさらなるレースを選択することによって再投入することが可能である。

10

【0005】

賭けをする人が、レースが競馬場によって選ばれ、このため賭けをする各人に同一のものとなるのではなく、賭けに利用される5つのレースなどの特定のレースを選択することを可能にすることによって、賭けシステムは、当日より長い時間、賭けをする人から賭けの受付が可能となる。例えば、従来技術のように、競馬場が賭けを構成する5つのレースを選択する場合、賭けをする人は当該5つのレースの最初のレースの直前には賭けをすることが通常である。これは、賭け窓口、そして潜在的には賭けシステムにおけるボトルネックを生じさせる。この結果、賭けをする人は、典型的には、5つのレースの最初のレースの直前に賭け窓口において遅延と長い行列に直面することとなる。短時間における賭けアクションのこのようなスパイク(s p i k e)は、ネットワークリソースの過度の使用を引き起こし、これにより、さらなる遅延が引き起こされる可能性がある。多くの場合、不満を持った賭けをする人々は賭けを見送る。しかしながら、本開示のように、賭けをする各人が賭けの対象となる5つのレースを個別に選択することができる場合、これらの賭けは異なる賭けをする人にとって異なるレースを含む可能性が高くなる。この結果、より長い期間、賭けシステムに賭けを発注する可能性が高くなり、賭けシステムは、ある時点において賭けアクションにおけるスパイクを確認する可能性は低くなる。このことは、ネットワークリソースを解放する。従って、賭けシステムは、より高速に、より高いスループットにより、より効率的に動作するよう構成される。

20

30

【0006】

この効果は賭けの発注及び受付を参照して説明されるが、同様の効果が賭けの清算時にも得られるかもしれないということが理解されるべきである。例えば、本開示の下での賭けの発注及び受付と同様に、本開示の下での当選が決定され、より長い期間支払が行われるかもしれない。このことはまた、ネットワークリソースを解放し、スピード、スループット及び効率性を向上させる。

【0007】

本開示のさらなる効果は、例えば、その日の早い時間に特定の「セレクトファイブ」の賭けに負けた賭けをする人が、その日中にそのようなさらなる賭けをすることが可能であるということである。そのような各賭けは複数のレースの結果に基づくものであるため、ある賭けをする人が5つの異なるレースで5つの異なる賭けをするのではなく、さらなる「セレクトファイブ」の賭けをすることが可能である。賭けシステムに提供される賭け数を集約することによって、本開示の「セレクトファイブ」の賭けは、賭けをする人が賭け窓口を訪れる移動数を低減する効果を有するかもしれない。この結果、賭けシステムのネットワークリソースがさらに解放され、これにより、賭けシステムの全体的な処理速度、スループット及び効率性が向上するであろう。

40

【0008】

以下の図面、説明及び請求項から、当業者には他の効果が容易に明らかになるであろう。

50

## [ 発明の実施例の詳細な説明 ]

図 1 は、本発明の実施例による賭け 12 を受付及び管理するための一例となるシステム 10 を示す。システム 10 は、通信ネットワーク 18 によって接続されるトラックインタフェース 14 と賭けシステムプラットフォーム 16 とを有する。一般に、1 以上の賭けをする人 20 は、賭け情報（レース時間、賭けルール、賭けオプション、オッズなど）を受け付け、及び / 又はトラックインタフェース 14 を介し賭けを発注する。トラックインタフェース 14 は、賭けをする人 20 から受け付けた賭け 12 を賭けシステムプラットフォーム 16 に通信する。賭けシステムプラットフォーム 16 は、受け付けた賭け 12 を格納し、適切なオッズと支払を決定し、そのようなオッズと支払をトラックインタフェース 14 に通信する。

10

## 【 0009 】

所与の日に、競馬場は、任意数のレースを開催することが予定されているかもしれない。同じ日に、様々な距離のレース、様々なタイプ及び / 又は年齢の競馬レースなど、各種タイプのレースが開催されるかもしれない。ほとんどのレース日に、競馬場は 5 つより多くのレースを開催することが予定されている。システム 10 は、賭けをする人 20 がある日に予定されたレースから 5 つのレースを選択し、選択された 5 つのレースの勝者について賭けをすることを可能にする。このような賭けは、「セレクトファイブ」の賭けと呼ばれるかもしれない。賭け 12 は、セレクトファイブ賭け 12 として呼ばれるかもしれない。選ばれた 5 つのレースは、連続又は不連続なレースであってもよい。賭けをする各人 20 は、各自のセレクトファイブ賭けの選ばれた 5 つのレースを構成する異なるレースを選ぶかもしれない。例えば、ある日に 9 つのレースが開催されることが予定されている場合、1 人の賭けをする人 20 は、レース 1、レース 2、レース 4、レース 5 及びレース 8 を選択し、他の賭けをする人 20 は、レース 5、レース 6、レース 7、レース 8 及びレース 9 を選択するかもしれない。このような各賭け 20 はまた、選ばれた各レースについて勝者を選択する。当選したセレクトファイブ賭けは、賭けをする人のセレクトファイブ賭けにおいて賭けをする人によって選ばれた 5 つのレースのそれぞれの勝ち馬を正確に選んだものから構成されるかもしれない。競馬場がある日に複数のセレクトファイブ賭けの勝者を有し、これらの勝者が各自のセレクトファイブ賭けにおいて何れに賭けをするかについて異なるレースを選択しているかもしれない可能性がある。

20

## 【 0010 】

システム 10 は、好ましくは、ある日に受け付けたすべてのセレクトファイブ賭け 12 がプールされ、競馬場や他の賭け提供者によって手数料（又は「持ち出し」）が徴収され、残りがセレクトファイブの支払を構成し、すべての当選したセレクトファイブの賭けをした人に分配されるパリミュチュエル方式の賭けシステムである。

30

## 【 0011 】

トラックインタフェース 14 は、賭けをする人 20 から賭け 12 を受け付け、支払を分配するテラー 24 やセルフサービス賭けマシン 24 などの賭けシステムプラットフォーム 16 と賭けをする人 20 との間の何れか適切なトラックインタフェースを有するかもしれない。トラックインタフェース 14 はまた、レース時間、スケジュール、現在のオッズ、セレクトファイブ賭け 12 のための予想又は実際の支払など、賭け情報をモニタするため賭けをする人 20 によって閲覧されるモニタ 26 を有するかもしれない。ある状況では、このような情報は、例えば、新たなセレクトファイブ賭け 12 が発注され、及び / 又はれ一図に関する情報が変更されると、リアルタイムに又は予め設定された間隔（30 秒ごとなど）により実質的に更新されるようにしてもよい。

40

## 【 0012 】

賭けをする人は、5 レースより少ないレースしか残らなくなった時点まで、その日にトラックインタフェース 14 においてセレクトファイブ賭け 12 を発注することが可能である。例えば、ある日に予定されているレースが 11 レースある場合、レース 7 についての賭けが締め切られるまでいつでもセレクトファイブ賭けを発注することができる。本例では、セレクトファイブ賭けを発注するため、レース 6 まで賭けをする人が待機する場合、

50

賭けをする人は、自らのセレクトファイブ賭けにおいてレース 8、8、9、10 及び 11 の勝者を選ばなければならないということに留意されたい。これは、その日の早い時間のレースをセレクトファイブ賭けにおいて選択したが、これらのレースの何れかの勝ち馬の選択をミスした賭けをする人が、その日に開催される残りのレースのうちの 5 つを含む 1 以上のさらなるセレクトファイブ賭けを発注することを可能にする。

#### 【0013】

上述のように、賭けシステムプラットフォーム 16 は、トラックインタフェース 14 からセレクトファイブ賭け 12 を受け付け、受け付けた賭け 12 を格納し、適切な払い戻しを決定し、このような払い戻しをトラックインタフェース 14 に通信し、その後、トラックインタフェース 14 は、当該払い戻しを賭けをした人 20 に表示するようにしてもよい。図 1 に示されるように、賭けシステムプラットフォーム 16 は、メモリ 30 に接続されるプロセッサ 28 を有する。プロセッサ 28 は、一般に現在のセレクトファイブプールデータ 52、現在のオッズ情報 54、現在又は可能性のあるセレクトファイブ払い戻しデータ 56 及び他の何れか適切な情報を決定するため、各種アルゴリズム又は計算を実行するよう動作可能である。

10

#### 【0014】

上述のように、賭けシステムプラットフォーム 16 は、プロセッサ 28 とメモリ 30 とを有する。プロセッサ 28 は、賭けシステムソフトウェアアプリケーション 36 又は他のコンピュータ命令を実行する、中央処理ユニット (CPU) 又は他のマイクロプロセッサなどの任意の適切なプロセッサを有するようにしてもよく、一緒になって動作する適切な個数のプロセッサを有するようにしてもよい。メモリ 30 は、1 以上の RAM (Random Access Memory)、ROM (Read-Only Memory)、DRAM (Dynamic RAM)、FCRAM (Fast Cycle RAM)、SRAM (Static RAM)、FPGA (Field-Programmable Gate Array)、EPROM (Erasable Programmable ROM)、EEPROM (Electrically Erasable Programmable ROM)、マイクロコントローラ又はマイクロプロセッサなど、コンピュータ命令の実行を容易にするのに適した 1 以上の記憶装置から構成されるかもしれない。

20

#### 【0015】

メモリ 30 は、オッズ及び / 又は払い戻しを決定するのにプロセッサ 28 によって利用可能な各種情報を格納するよう動作可能である。例えば、メモリ 30 は、同じ場所に配置されるか、又は物理的及び / 又は地理的に分散させることが可能な任意の適切な個数のデータベースを有するようにしてもよい。図 1 に示される例では、メモリ 30 は、賭けシステムソフトウェアアプリケーション 36、現在のオッズデータ 38、レースパラメータ 40、セレクトファイブ賭けパラメータ 42、セレクトファイブ計算ルール 44、レース結果 46 及びセレクトファイブ賭け結果 48 の何れか又はすべてを格納するようにしてもよい。

30

#### 【0016】

レースパラメータ 40 は、レースタイプ、レース時間及び / 又はレースの各馬の番号 (又はいくつかのケースでは、名前) など、1 以上のレースの各種パラメータを有するかもしれない。セレクトファイブ賭けパラメータ 42 は、セレクトファイブ賭け 12 を発注した賭けをする人の身元、セレクトファイブ賭け 12 の手数料率、セレクトファイブ賭け 12 によってカバーされるレース、セレクトファイブ賭け 12 によってカバーされる馬及び / 又はセレクトファイブ賭け 12 の賭け金など、1 以上の受け付けたセレクトファイブ賭け 12 の各種パラメータを有するかもしれない。セレクトファイブ計算ルール 44 は、様々な現在のセレクトファイブプールデータ 52、現在のオッズデータ 54 及び現在又は可能性のあるセレクトファイブ払い戻しデータ 56 を決定するのに、プロセッサ 28 によって使用される各種等式又は他のアルゴリズムを有するかもしれない。レース結果 46 は、所与の日の各レースの勝者など、1 以上のレースの結果に関する各種データを有するよう

40

50

にしてもよい。セレクトファイブ賭け結果 48 は、セレクトファイブ賭け 12 を発注した賭けをする人 20 の身元、セレクトファイブ賭け 12 が当選賭けであったか、セレクトファイブ賭け 12 に対する決定された払い戻し、及び / 又は払い戻しが賭けをした人 20 に分配されたかなど、各種セレクトファイブ賭け 12 の結果に関する各種データを有するようにしてもよい。メモリ 30 に格納されている特定のコンポーネントは、特定のニーズに従って何れか適切な方法によりメモリ 30 に合成又は分離されてもよい。一例として、後述される図 2 はさらに、セレクトファイブ賭けパラメータ 42、レース結果 46 及びセレクトファイブ賭け結果 48 からのデータを組み合わせ可能なセレクトファイブ賭け及び結果データの一例を示す。

#### 【0017】

10

上述のように、1 以上の通信ネットワーク 18 は、トラックインタフェース 14 と賭けシステムプラットフォーム 16 との間の無線及び / 有線通信を接続及び容易にする。各通信ネットワーク 18 は、有線ライン、光、無線又は他の適切なリンクなどのリンクによって接続される、1 以上のサーバ、ルータ、スイッチ、リピータ、バックボーン、リンク及び / 又は他の何れか適切なタイプの通信装置を有するようにしてもよい。一般に、各通信ネットワーク 18 は、ローカルエリアネットワーク (LAN) などの何れかの通信ネットワークにおいて見つけることができる任意の相互接続を有するものであってもよい。

#### 【0018】

上述のように、プロセッサ 28 は、現在のセレクトファイブプールデータ 52、現在のオッズデータ 54 及び現在又は可能性のあるセレクトファイブ払い戻しデータ 56 を決定 20 するため。賭けシステムソフトウェアアプリケーション 36 を実行するよう動作可能である。プロセッサ 28 は、少なくともメモリ 30 及び / 又はトラックインタフェース 14 から受け付けたデータに基づき、このようなプール、オッズ又は払い戻しデータを決定するようにしてもよい。さらに、プロセッサ 28 は、賭けシステムプラットフォーム 16 によって受け付けられる新たな情報に基づき、このようなプール、オッズ又は払い戻しデータを更新してもよい。いくつかの実施例では、プロセッサ 28 は、このようなデータをリアルタイムに、実質的にリアルタイムに、又は予め設定された間隔 (30 秒ごとなど) により更新するようにしてもよい。

#### 【0019】

図 1 に示されるように、現在のセレクトファイブプールデータ 52、現在のオッズデータ 54 及び現在又は可能性のあるセレクトファイブ払い戻しデータ 56 が、矢印 50 によって示されるように、通信ネットワーク 18 を介しトラックインタフェース 14 に通信されてもよい。このようなデータは、その後、モニタ 32 などを経由し賭けをする人 20 に利用可能とされるかもしれない。

30

#### 【0020】

図 2 は、競馬場のある日の一例となるセレクトファイブ賭け及び結果データを示す。賭けをする人がレース毎に複数の馬を選択することは可能であるが (例えば、増額されたコストによって)、図示された例は、賭けをする人がレース毎に 1 頭の馬しか選択しないことを仮定している。本例では、競馬場は 10 レースを開催するよう予定され、賭けをする人 1 ~ 4 のそれぞれは、セレクトファイブ賭けを行う。賭けをする人 1 は、レース 2、5 40、7、8 及び 10 について賭けることを選び、賭けをする人 2 は、レース 1、2、3、4 及び 5 について賭けることを選び、賭けをする人 3 は、レース 1、3、4、5 及び 7 について賭けることを選び、賭けをする人 4 は、レース 4、5、6、7 及び 10 について賭けることを選ぶ。賭けをする人 1 は、レース 2 の勝ち馬として馬 # 2、レース 5 の勝ち馬として馬 # 6、レース 7 の勝ち馬として馬 # 1、レース 8 の勝ち馬として馬 # 2、レース 10 の勝ち馬として馬 # 3 をそれぞれ選択する。賭けをする人 2 は、レース 1 の勝ち馬として馬 # 3、レース 2 の勝ち馬として馬 # 2、レース 3 の勝ち馬として馬 # 8、レース 4 の勝ち馬として馬 # 5、レース 5 の勝ち馬として馬 # 6 をそれぞれ選択する。賭けをする人 3 は、レース 1 の勝ち馬として馬 # 4、レース 3 の勝ち馬として馬 # 8、レース 4 の勝ち馬として馬 # 5、レース 5 の勝ち馬として馬 # 6 及びレース 7 の勝ち馬として馬 # 1 をそ 50

れぞれ選択する。賭けをする人4は、レース4の勝ち馬として馬#5、レース5の勝ち馬として馬#8、レース6の勝ち馬として馬#7、レース7の勝ち馬として馬#7及びレース10の勝ち馬として馬#6をそれぞれ選択する。本例では、馬#4がレース1に勝ち、馬#2がレース2に勝ち、馬#8がレース3に勝ち、馬#5がレース4に勝ち、馬#6がレース5に勝ち、馬#6がレース6に勝ち、馬#1がレース7に勝ち、馬#2がレース8に勝ち、馬#4がレース9に勝ち、馬#3がレース10に勝つ。

【0021】

実際のレースの勝者と選択されたレース及び馬を比較して、賭けをする人1と3は、各自のセレクトファイブ賭けにおいて選択された各レースの勝者を正しく選択したことが確認できる。賭けをする人2は、5つの選択されたレースのうち4つの勝者を正しく選択した(レース2、3、4及び5の勝者を正しく選択したが、レース1の勝者をミスした)。賭けをする人4は、選択された5つのレースのうち1つの勝者を正しく選択した(レース4の勝者を正しく選択したが、レース5、6、7及び10をミスした)。従って、賭けをする人1と3のそれぞれは、競馬場の特定の日の合計のセレクトファイブ払い戻しの一部を受け取るであろう。賭けをする人1と3がその日の唯一のセレクトファイブの当選者である場合には、例えば、均等などによりその日の合計のセレクトファイブ払い戻しを分割するであろう。

10

【0022】

ある日には、競馬場がそれぞれ選ばれた5つのレースの勝者を正しく選択したセレクトファイブ賭けを有しない可能性があるかもしれない。このような場合、競馬場は、5つのレースを大部分を正しく選んだセレクトファイブの賭けをした人に、その日のセレクトファイブ払い戻しの一部又はすべてを支払うようにしてもよい(例えば、セレクトファイブの払い戻しの一部又はすべてが、それぞれ選ばれた5つのレースのうちの4つを正しく選んだ賭けをした人の間で分割されるようにしてもよい)。いくつかの場合、競馬場は、賭けをした人が選んだレースの5つすべての勝者を正しく選択した人がいない場合、その日のセレクトファイブを賭けた誰にも支払をしないかもしれない。

20

【0023】

同数のレースを正しく選択した複数のセレクトファイブの賭けをした人に払い戻しがされる場合、この払い戻しは、賭けをした各人によって賭けられた金額に従って、セレクトファイブの賭けをした人に分割されることが理解されるべきである。例えば、2人のセレクトファイブの賭けをした人がそれぞれ選んだ5つすべてのレースの勝者を正しく選択し、賭けをした1人が自分の当選セレクトファイブ賭けに1ドル賭け、他方の賭けをした人が自分の当選セレクトファイブ賭けに2ドルを賭けていた場合、2ドルを賭けたセレクトファイブの賭けをした人が、1ドルしか賭けていない賭けをした人によって受け取られるセレクトファイブの2倍の払戻金を受け取るであろう。

30

【0024】

競馬場によって払い戻しがされなかった日のセレクトファイブの払い戻しの一部は(例えば、選ばれた5つのレースの勝者を正しく選んだセレクトファイブの賭けがなく、その日のセレクトファイブの払い戻しのすべてが、5見何の選ばれたレースを正しく選んだ賭けをした人に分配されない場合)、以降のレース日のセレクトファイブの払い戻しを構成するため、以降のレース日に発注されたセレクトファイブの賭けと組み合わせるように、次のレース日などの以降のレース日にキャリーオーバーされてもよい。このようなキャリーオーバーは、複数の日のセレクトファイブの払い戻しの一部又はすべてが当該日に支払われない場合、複数の日に行われてもよい。ある日のセレクトファイブの賭けをする人の中で、選ばれた5つのレースの勝者を正しく選択した人がおらず、競馬場がその日のセレクトファイブの払い戻しの一部を依然として支払う場合(例えば、選ばれた5つのレースのうち4つの勝者を正しく選択した人に)、いくつかのケースでは、このような一部は以前のレース日からキャリーオーバーされたセレクトファイブ金額を含まないようにしてもよいということが理解されるべきである。これは、セレクトファイブのキャリーオーバー金額が、それぞれ選んだレースの5つすべてにおいて勝ち馬を正しく選んだ賭けをした人

40

50



にのみ支払われることを保証するかもしれない。

【 0 0 2 5 】

いくつかのレース日では、予定されたいくつかのレースがキャンセル又は延期されたり、あるいは、勝者が決定されないように「ノーコンテスト (no contest)」レースを構成するようにしてもよい。この場合、以前に開催された選ばれたレースをミスしていないセレクトファイブの賭けをする人が依然として存在するかもしれない。例えば、悪天候によって、ある日に予定されていたレース 7、8、9 及び 10 がキャンセルされるかもしれない。特定のセレクトファイブの賭けをした人は、以前に開催された 5 つの選ばれたレースにおいて、勝ち馬を正しく選んでいたかもしれない (例えば、レース 1 ~ 6 のうち 5 つのレースなど)。さらに、他のセレクトファイブの賭けをする人は、選ばれた 5 つのレースの何れかの勝者の選択をミスしていないという点で、「依然として生きている」セレクトファイブの賭けをする人を有するかもしれない。これらの状況では、競馬場は、何れか適切な式、アルゴリズム又は方法に従って、その日のセレクトファイブの払い戻しの一部又はすべてを分配するかもしれない。一例として、競馬場は、ある日のセレクトファイブの払い戻し (以前のレース日からのセレクトファイブのキャリーオーバー金額を含むか、含まないか) を以下の式 (10 レースカードについて予測される) に従って、「依然として生きている」賭け (すなわち、選ばれたレースの勝者をまだミスしていない賭け) に分配してもよい。

【 0 0 2 6 】

レース 1 の後のキャンセル：依然として生きている賭けに分割されるプール全体

レース 2 の後のキャンセル：2 つの当選による賭けに対して  $66 \frac{2}{3} \%$ 、1 つの当選による賭けに対して  $33 \frac{1}{3} \%$

レース 3 の後のキャンセル：3 つの当選による賭けに対して  $50 \%$ 、2 つの当選による賭けに対して  $33 \frac{1}{3} \%$ 、1 つの当選による賭けに対して  $16 \frac{2}{3} \%$

レース 4 の後のキャンセル：4 つの当選による賭けに対して  $40 \%$ 、3 つの当選による賭けに対して  $30 \%$ 、2 つの当選による賭けに対して  $20 \%$ 、1 つの当選による賭けに対して  $10 \%$

レース 5 の後のキャンセル：5 つの当選による賭けに対して  $75 \%$  と、残りの  $25 \%$  を以下のように分割する：4 つの当選による賭けに対して  $40 \%$ 、3 つの当選による賭けに対して  $30 \%$ 、2 つの当選による賭けに対して  $20 \%$ 、1 つの当選による賭けに対して  $10 \%$

レース 6 の後のキャンセル：5 つの当選による賭けに対して  $75 \%$  と、残りの  $25 \%$  を以下のように分割する：4 つの当選による賭けに対して  $40 \%$ 、3 つの当選による賭けに対して  $30 \%$ 、2 つの当選による賭けに対して  $20 \%$ 、1 つの当選による賭けに対して  $10 \%$

レース 7 の後のキャンセル：5 つの当選による賭けに対して  $75 \%$  と、残りの  $25 \%$  を以下のように分割する：4 つの当選による賭けに対して  $50 \%$ 、3 つの当選による賭けに対して  $33 \frac{1}{3} \%$ 、2 つの当選による賭けに対して  $16 \frac{2}{3} \%$

レース 8 の後のキャンセル：5 つの当選による賭けに対して  $75 \%$  と、残りの  $25 \%$  を以下のように分割する：4 つの当選による賭けに対して  $66 \frac{2}{3} \%$ 、3 つの当選による賭けに対して  $33 \frac{1}{3} \%$

レース 9 の後のキャンセル：5 つの当選による賭けに対して  $75 \%$ 、4 つの当選による賭けに対して  $25 \%$

上記の例では、あるカテゴリについて依然として生きているセレクトファイブ賭けがない場合、当該カテゴリの金額が他のカテゴリの金額に追加されてもよい。例えば、レース 7 の後、3 つの当選による依然として生きているセレクトファイブ賭けがない場合、3 回当選カテゴリの金額が (例えば、残りの  $25 \%$  の  $33 \frac{1}{3} \%$ )、4 回当選カテゴリに追加されてもよい (4 回当選カテゴリが、本例の残りの  $25 \%$  の  $83 \frac{1}{3} \%$  を構成する)。上記の式に従って払い戻しされなかった金額は、以降のレース日のセレクトファイブの払い戻しにキャリーオーバーされてもよい。上記の式は単なる一例として与えられた

10

20

30

40

50

ものであり、競馬場は、任意の適切な式、アルゴリズム又は方法に従って、キャンセル、延期又は「ノーコンテスト」レースの場合には、セレクトファイブの払い戻しの一部又はすべてを分配してもよいし、そうでなくてもよい。さらに、いくつかの競馬場は、キャンセル又は「ノーコンテスト」レースの場合には、セレクトファイブの払い戻しの何れの部分も支払わないことを選択し、そのような払い戻しを以降のレース日にキャリーオーバーするようにしてもよい。

#### 【0027】

上述のように、プロセッサ28は、様々なアルゴリズム又は等式を用いて様々な現在又は可能性のあるセレクトファイブ払い戻しデータ56を計算するかもしれない。図3は、本発明の一実施例によるこのようなアルゴリズム又は等式の例を示す。特に、図3は、ある日のセレクトファイブ賭け12について現在の可能性のある払い戻しを計算するための各種等式を示す。

10

#### 【0028】

特に、図3は、ある日に受け付けたセレクトファイブ賭けが、その日のセレクトファイブプールを構成することを示す式100を示す。式102は、ある日のセレクトファイブテイクアウト(take-out)が、その日のセレクトファイブプールと手数料(15%など)を掛け合わせることによって計算されることを示す。式104では、セレクトファイブ払い戻しは、その日のセレクトファイブプールからその日のセレクトファイブテイクアウトを減算し、以前のレース日からのセレクトファイブキャリーオーバーを加算することによって決定される。上述のように、ある日は1以上の以前のレース日からのキャリーオーバーを含むかもしれないが、他の日はセレクトファイブ払い戻しにキャリーオーバーを含めないかもしれない。

20

#### 【0029】

図4は、本発明の実施例によるセレクトファイブ賭け12を受け付け、管理及び支払う一例となる方法を示すフローチャートである。ステップ200において、セレクトファイブ賭け12が、図1を参照して上述されたように、1以上のトラックインタフェース14を介し1以上の賭けをする人から受付される。受け付けた各セレクトファイブ賭け12は、その日に競馬場で開催予定の複数の競馬レースから選ばれた5つの競馬レースの選択と、選択された5つの競馬レースのそれぞれに対する各馬の選択と、賭け金とを含む。各セレクトファイブ賭け12は、ステップ202においてメモリ30内などに格納されてもよい。

30

#### 【0030】

ステップ204において、セレクトファイブ賭け金が、その日のセレクトファイブ賭けプールを構成するよう組み入れられてもよい。ステップ206において、その日の合計のセレクトファイブ払い戻しが決定される。このような決定は、手数料率をプールに適用することによってなど、セレクトファイブ賭けプールから手数料を減じることを含むかもしれない。セレクトファイブ払い戻しの決定はまた、以前のレース日からのセレクトファイブキャリーオーバーを加えることを含むかもしれない。

#### 【0031】

ステップ208において、その日のレースの結果が受け付けられる。このような結果は、その日に開催される各レースの勝ち馬の識別情報を含む。ステップ210において、セレクトファイブ当選が、ステップ200と202のそれぞれで受け付け及び格納されたセレクトファイブ賭け12から決定される。いくつかのケースでは、セレクトファイブ賭け12は、セレクトファイブ賭け12がこの賭けにおいて選ばれた各レースの勝ち馬の正しい選択を含んでいる場合に限って、当選とみなされるかもしれない。他のケースでは、セレクトファイブ賭け12は、賭け12が賭けにおいて選ばれたレースの少なくとも1つの勝ち馬の正しい選択を含む場合、特に受け付けたセレクトファイブ賭け12にそれぞれ選ばれた各レースの勝ち馬の正しい選択を含むものがない場合、ある当選金が付与されるようにしてもよい。ステップ212において、ドル単位のセレクトファイブ払い戻しが、当選したセレクトファイブ賭け12の気かをした人に支払われるようにしてもよい。いくつ

40

50

かのケースでは、その日のセレクトファイブ払戻金が、受け付けたセレクトファイブ賭け 12 にそれぞれ選ばれた各レースの勝ち馬の正しい選択を含むものがない場合、以降のレース日にキャリアオーバーされるかもしれない。

【0032】

図4に示される各ステップの一部は、必要に応じて組み合わせ、変更又は削除されてもよく、またフローチャートにさらなるステップが追加されてもよい。さらに、本発明の範囲から逸脱することなく、何れか適切な順序によりステップが実行されてもよい。

【0033】

上述のように、本発明の様々な実施例は、いくつかの効果を提供する。1つの効果は、賭けをする人が、勝者を正しく選ぶ確率が最も高いと考えるある日の5つのレースを選択可能であるということである。賭けをする人がその日の早い時間に自分が選択した5つのレースの1つをミスした場合、賭けをする人は、まだ開催されていないさらなる5つのレースを選択することによって、プールに再参入することが可能である。いくつかのケースでは、賭けをする人は、その日のすべてのレースが終わる前に、5つの選択したレースに当選し、これによって、賭けをする人のセレクトファイブ当選を収集するため、競馬場により長い時間留まるインセンティブを与えることとなるかもしれない(当選の可能性のあるセレクトファイブ賭けがもはやなくなるまで、最終の払い戻しは決定されない)。競馬場により長い時間留まることは、賭けをする人が競馬場でさらなる賭けを発注し、これにより、競馬場の利益が向上することを意味するかもしれない。賭けをする人は、一日中セレクトファイブプールの増加を観察し、これにより、大きなセレクトファイブプールの場合に、セレクトファイブ賭けを発注するより大きなインセンティブを与えるかもしれない。

【0034】

本発明が特定の実施例を参照して詳細に説明されたが、本発明の趣旨及び範囲から逸脱することなく、他の様々な変更、置換及び代替が可能であるということが理解されるべきである。本発明は、添付した請求項の趣旨及び範囲内に属すると当業者によって認められるすべての変更、置換、変形、代替及び改良を含むものとする。

【図面の簡単な説明】

【0035】

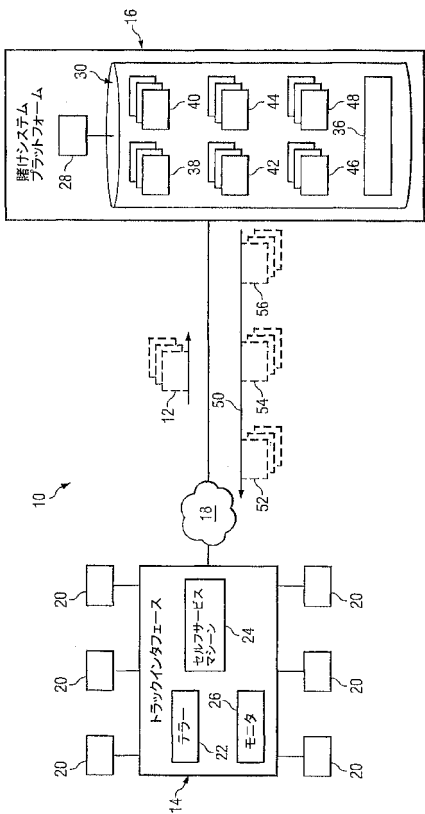
【図1】図1は、本発明の実施例によるセレクトファイブ賭けを受付及び管理するシステムを示す。

【図2】図2は、本発明の実施例による賭けシステムプラットフォームによって決定され、賭けをする人に通信可能な一例となるセレクトファイブ賭けと結果データを示す。

【図3】図3は、本発明の実施例による可能性のあるセレクトファイブ賭け払い戻しを計算するための各種式を示す。

【図4】図4は、本発明の実施例によるセレクトファイブ賭けを受付、管理及び支払を行う一例となる方法を示すフローチャートである。

【 図 1 】



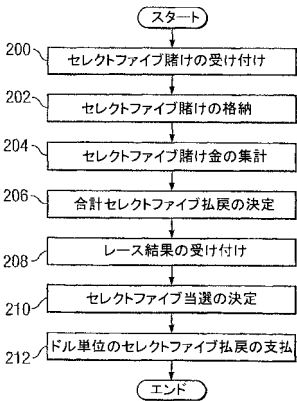
【 図 2 】

| セレクトファイブ賭け及び結果データ |             |             |             |             |       |
|-------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------|
| レース               | 賭けをする人<br>1 | 賭けをする人<br>2 | 賭けをする人<br>3 | 賭けをする人<br>4 | レース勝者 |
| 1                 |             | 馬 #3        | 馬 #4        |             | 馬 #4  |
| 2                 | 馬 #2        | 馬 #2        |             |             | 馬 #2  |
| 3                 |             | 馬 #6        | 馬 #8        |             | 馬 #8  |
| 4                 |             | 馬 #5        | 馬 #5        | 馬 #5        | 馬 #5  |
| 5                 | 馬 #6        | 馬 #6        | 馬 #6        |             | 馬 #6  |
| 6                 |             |             |             | 馬 #7        | 馬 #6  |
| 7                 | 馬 #1        |             | 馬 #1        | 馬 #7        | 馬 #1  |
| 8                 | 馬 #2        |             |             |             | 馬 #2  |
| 9                 |             |             |             |             | 馬 #4  |
| 10                | 馬 #3        |             |             | 馬 #6        | 馬 #3  |
| セレクトファイブ<br>当選者?  | YES         | NO          | YES         | NO          |       |

【 図 3 】

100 ～ 当日のセレクトファイブプール＝当日に受け付けたセレクトファイブ賭け  
102 ～ 当日のセレクトファイブアクアウト＝手数料率 × 当日のセレクトファイブプール  
セレクトファイブ払戻＝当日のセレクトファイブプール  
104 ～ 当日のセレクトファイブアクアウト＋セレクトファイブキャリーオーバー

【 図 4 】



## 【国際調査報告】

## INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/US05/03315

| <b>A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER</b><br>IPC(7) : A63F 9/24; G06F 155/00<br>US CL : 463/6,26-28;700/93<br>According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC   |   |   |
|--|---|---|
| <b>B. FIELDS SEARCHED</b><br>Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)<br>U.S. : 463/6,26-28;700/93<br>Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched<br>Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)   |   |   |
| <b>C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT</b>  |   |   |
| Category *   | Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages        | Relevant to claim No.   |
| X  | US 5,830,068 A (Brenner et al.) 3 November 1998 (03.11.1998), Full text and Drawings.     | 1-5 & 9   |
| Y  | US 5,275,400 A (Weingardt et al.) 4 January 1994 (04.01.1994), Full text and Drawings.    | 6   |
| Y  | US 5,452,899 A (Skratulia et al.) 26 September 1995 (26.09.1995), Full text and Drawings. | 7-8   |
| <input type="checkbox"/> Further documents are listed in the continuation of Box C. <input type="checkbox"/> See patent family annex.  |   |   |
| * Special categories of cited documents:<br>"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance<br>"E" earlier application or patent published on or after the international filing date<br>"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)<br>"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means<br>"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed<br>"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention<br>"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone<br>"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art<br>"Z" document number of the same patent family |   |   |
| Date of the actual completion of the international search<br>04 September 2005 (04.09.2005)  |   | Date of mailing of the international search report<br>12 OCT 2005 |
| Name and mailing address of the ISA/US<br>Mail Stop PCT, Attn: ISA/US<br>Commissioner for Patents<br>P.O. Box 1450<br>Alexandria, Virginia 22313-1450<br>Facsimile No. (571) 273-3201  |   | Authorized officer<br>Chand Harris<br>Telephone No. 703-308-1148  |

Form PCT/ISA/210 (second sheet) (April 2003)

---

フロントページの続き

(81)指定国 AP(BW, GH, GM, KE, LS, MW, MZ, NA, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), EA(AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), EP(AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, MC, NL, PL, PT, RO, SE, SI, SK, TR), OA(BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG), AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KP, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MZ, NA, NI, NO, NZ, OM, PG, PH, PL, PT, RO, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SY, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, YU, ZA, ZM, ZW